



# 新着図書リスト

今、話題の本を入荷しました！

ゆうまつど

2階ライブラリー

2025年10月作成

## 女性論とその周辺(性差別・その他人権含む)

書名	著者名	出版社	出版年
先生と親のためのLGBTガイド:もしもあなたがカミングアウトされたなら	遠藤まめた	合同出版	2016
新しい労働世界とジェンダー平等	浅倉むつ子	かもがわ出版	2022
フェミニズムがひらいた道	上野千鶴子	NHK出版	2022
おしえてジェンダー!「女の子だから」のない世界へ!	公益財団法人プラン・インターナショナル・ジャパン(編著)	合同出版	2023
田嶋先生に人生救われた私がフェミニズムを語っていいですか!?	田嶋陽子、アルテシヤ	KADOKAWA	2023
少女小説をジェンダーから読み返す	木村民子	亜紀書房	2023
15のケースで考えよう 保育のなかのジェンダー	藤田由美子	チャイルド本社	2023
女の子に生まれたこと、後悔してほしくないから	犬山紙子	ディスカバー・トゥエンティワン	2024
時給7000円のデリヘル嬢は80万円の借金が返せない。	つばき(著)、うなばらもも	ころから	2024
それ、フェミニズムに聞いてみない?日々のもやもやと一緒に考えるフェミニスト・ガイド	タビ・ジャクソン・ジー、フレイヤ・ローズ(著)、恵愛由(訳)	明石書店	2024
教育にひそむジェンダー	中野門佳	筑摩書房	2024
女性から虐待されている男性へー女性なぜ傷つけ、男性なぜ留まってしまうのか	アン・シルバース(著)、上田勢子(訳)	明石書店	2025
とびこえる教室フェミニズムと出会った僕が子どもたちと考えた「ふつう」	星野俊樹	時事通信出版局	2025
イザというとき中身は大丈夫?防災リュックはじめてBOOK最適化アレンジで命を守る	高荷智也	徳間書店	2025
男女の進学格差はなぜ埋まらないのか?	中西裕子	岩波書店	2025

## 生き方(子育て・家庭・介護含む)

書名	著者名	出版社	出版年
初婚でいきなり2人の子持ちになりました	ネコオヤジ	竹書房	2013
ひとり親の子育て	諸富祥彦	WAVE出版	2015
セルフケアの道具箱	伊藤恵美(著)、細川貂々(絵)	晶文社	2020
夫婦をやめたい 離婚する妻、離婚はしない妻	南和行	集英社	2021
双子育児ちよっぴり詰んでます	いよかん	KADOKAWA	2023
令和妊婦、孤高のさけび!頼りになるのはスマホだけ?!	真船佳奈	オーバーラップ	2023
ほどよく忘れて生きていく	藤井英子	サンマーク出版	2023
働きママんまさかの更年期編	おぐらなおみ	オーバーラップ	2024
へこたれてなんかいられない	ジェーン・スー	中央公論新社	2025
「支援をしない」といいながら「支援」を考えてみる	宮田隼	フェミックス	2025
午後のおいしい薬膳日記	午後(著)、櫻井大典(監修)	小学館	2025
ゆるり愛しのひとり旅	おづまりこ	文藝春秋	2025

## 働くこと(女性の活躍・社会参画含む)

書名	著者名	出版社	出版年
やめたいかもと一度でも思ったら読む教員の転職思考法	新川紗世	新流舎	2024
「働けない」ととことん考えてみた	栗田隆子	平凡社	2025
「何物でもない自分」から抜け出すキャリア戦略	森数美保	日本能率協会マネジメントセンター	2025
60分でわかる!仕事の心理学超入門	青山編集室(著)、宮本聡介(監修)	技術評論社	2025

貸出はおひとり3冊・3週間まで

児童書・絵本は裏面へ➡

児童書(子ども・青少年)

貸出はおひとり3冊・3週間まで

書 名	著者名	出版社	出版年	対象年齢
ころりん・ぱ！	ひらぎみつえ(作)	ほるぷ出版	2021	0歳から
どうぶつポーズであそボウサイ	かなざわまゆこ(作・絵)、こがりようこ(監修)	KADOKAWA	2025	2歳から その保護者
わたしとなかよし	ナンシー・カールソン(作・絵)、なかがわちひろ(訳)	瑞雲舎	2007	3歳から
だいじだいじどーこだ？	遠見才希子(作)、川原瑞丸(絵)	大泉書店	2021	3歳から その保護者
あなたのすてきなところはね	玉置永吉(作)、えがしらみちこ(絵)	KADOKAWA	2021	3歳から
わたしはBIG！ありのままでかんべき	ワシュティ・ハリソン(作)、ジェーン・スー(訳)	ポプラ社	2025	3歳から
ちからもちのおかね	中脇初枝(作)、伊野孝行(絵)	偕成社	2022	3歳から
王さまと王さま	リンダ・ハーン/スターン・ナイルド(絵・文)、アンドレア・ゲルマー/眞野豊(訳)	ポット出版	2015	4歳頃から
3人のママと3つのおべんとう	クク・チスン(作)、斎藤真理子(訳)	ブロンズ新社	2020	5歳から
月とアポロとマーガレット	ディーン・ロビンズ(文)、ルーシー・ナイズリー(絵)、鳥飼玖美子(訳)	評論社	2018	小学校低学年～
すきっていわなきゃだめ？	辻村深月(作)、今日マチ子(絵)、瀧井朝世(編)	岩崎書店	2019	小学校低学年～
ともだちになったミーとチュー	ヤン・ホーン(文)、エレーヌ・ルヌヴー(絵)、中由美子(訳)	樹立社	2019	小学校低学年～
せかいでさいしょにズボンをはいた女の子	キース・ネグレー(作)、石井睦美(訳)	光村図書	2020	小学校低学年～
男の子でもできること	国際NGOプラン・インターナショナル(文)、金原瑞人(訳)	西村書店	2020	小学校低学年～
橋の上で	湯本香樹実(文)、酒井駒子(絵)	河出書房新社	2022	小学校低学年～
チョウになりたい	マレク・マジュスキ(作・絵)、吉井知代子(訳)	金の星社	2024	小学校低学年～
なにでもないもん	少年アヤ(作)、阿部海太(絵)	岩崎書店	2025	小学校低学年～

『それ、フェミニズムに聞いてみない？』

日々のもやもやと一緒に考えるフェミニスト・ガイド』  
タビ・ジャクソン・ジー、フレイヤ・ローズ(著)  
惠愛由(訳)／明石書店

「共働きののに、家事をするのは女性なの？」「デートしてる人がなんでも奢ってくれようとするんだけど、これでいいのかな？」など、日々の生活で直面するもやもやを過去や現代のフェミニストに聞いてみた、というコンセプトで書き上げられた1冊です。  
恋愛や仕事、テクノロジーやメディアなど、幅広いテーマを取り上げ、フェミニストたちの考えを論理的に解説した現代版フェミニズム案内書で、性別に関係なく、一読の価値あります。



『「働けない」をとことん考えてみた。』

栗田隆子／平凡社

本書は、ロスジェネ世代である著者が生きてきた時代背景と自身の経験を交えながら、「働けない」ということがどういうことなのか、丁寧に綴られています。  
「正規雇用」と「非正規雇用」の違い、うつと休職、生活保護、年金制度に潜む差別やケア労働などが取り上げられており、書名に違わず、「働けない」側からの労働論を改めて考えさせられます。働く側の方だけでなく、雇用する側、管理職の方などにもおすすめです。



『せかいでさいしょにズボンをはいた女の子』

キース・ネグレー、石井睦美(訳)／光村図書

女性はズボンをはいちゃダメ？今から約150年前、女性はズボンをはいてはいけないという常識に疑問をもち、非難されても抵抗した少女の実話を元にした絵本です。後に女性初の軍医として活躍した女性、メアリー・E・ウォーカーの幼い日を、かわいらしい絵とともに読み進めることができます。  
だれもが「自分が好きなものを着る」という今では当たり前の権利や、ジェンダー平等について考えさせられる1冊です。



『わたしとなかよし』

ナンシー・カールソン、なかがわちひろ(訳)／瑞雲舎

主人公には、とても大好きで仲良しの友達がいいます。それは自分自身。自分が大好きだから、自分を大切にします。体をきれいにしたり、自分にやさしい言葉をかけたりします。  
色鮮やかな絵と前向きな文章からあふれ出る「自分 大好き」な思いに、今の自分でいいんだ！とパワーをもらえます。小さい子どもから大人まで、心に響く絵本です。

